



# メシアを身ごもるぴゅちゃん



あいね





# 目次

メシアを身ごもるぴゅちゃん . . . . .	1
-------------------------	---



## メシアを身ごもるびゆちゃん

びゆは派遣の事務員びゆ。  
毎日、エクセルと対応の電話で忙しいびゆ。  
そして、びゆは神さまを信じる、  
純潔の乙女びゆ！  
ああ、早く、神さまのもとへ  
行きたいびゆ！

びゆは聖書が好きです。  
箴言は31章あって、  
1か月くらいで読み終わるびゆ！！  
びゆは神さまを愛する、  
純朴な聖徒びゆ！

今日は23日だから、  
23章びゆね！

“富を得ようと苦勞してはならない。  
自分の分別によって、これをやめよ。  
あなたがこれに目を留めると、  
それはもうないではないか。  
富は必ず翼をつけて、  
鷲のように天へ飛んでいく。”  
箴言23：4、5

私、貧乏なんですけど……。  
もっとお金が欲しいびゆ。  
でも、神さまはお金より、  
もっと大事なものがあると教えているびゆ。  
それは“愛”。  
乏しいということも、実は恵みで、  
天の御国でいずれ、高められるびゆ。

お金より、もっと求めるのは、  
神さまの愛。  
私たちにはそれが必要びゆ。

私は自分なりに、  
純真に生きているつもりだった。  
されど、いろんな音楽を聴き、  
世俗に慣れ親しんでしまった。  
アブラハムもイサクもヤコブも  
ソロモンも、娯楽に興じるということは  
なさそうだ。  
私、びゆはよく考えて、  
遊ぶことは控えようと思うのでした☆

びゆはいつものように、  
Youtube で音楽を聴いていると……。  
(この時はロックな君とはお別れだを聴いていた。)  
御使いが突然部屋に現れ、  
部屋は明るく光った。  
びゆは一瞬、何が起こったか、分からず、  
気が動転しているだけ。  
ただ、この汚い部屋に純白の衣装を着た、  
天使が立っているのだ。  
「ここ、こんな汚い部屋に一体どうしたんですか!？」  
「おめでとう、恵まれた方。  
主があなたと共におられるでしょう。」  
「ワッツ!？ 何??  
私と主と一緒に!？」  
「何で、私なんかに?」  
「あなたはとてもきよい心をしています。  
安心してください。  
あなたは身ごもって、男の子を生むでしょう。  
その子を“ジーザス”と名付けなさい。  
その子は大いなるもので、いと高き方の  
子どもです。  
この子はとこしえにヤコブの家を治め、  
その支配は変わることがありません。」  
「まさか、そんな……。  
私は男の人を知りません。  
婚約者もいません。」

そんなこと、考えられません。」  
「聖霊があなたの上に臨み、  
いと高き方の力があなたを覆います。  
この子は聖なる者、神さまの子どもです。  
神にとって不可能なことは何一つありません。」  
「分かりました。  
このはしためにおことばどおりにこの身になりますように。」

わ、私に、救い主が！！  
この、凡庸な私に救い主が！  
えー、ちょっと考えらんない。  
じゃあ、これから妊活しなくちゃね！  
この子供にたっぷり栄養を注がないと！！

びゆはありったけの知恵で妊活を開始した。  
まずはこの子どもに酵素をたくさん、  
摂らせるのだ！  
「まずは果物びゆね。これは鉄則びゆ。」  
酵素は加熱によって、失われるびゆ。  
なるべく生のものを食べるびゆ。

びゆは惰性で買っていた歯磨き粉を全部処分した。  
「フッ素は松果体（第六感を司る）を  
石灰化させるびゆ。  
超能力が失われるびゆ。  
この子にもよくないびゆ。  
排除するびゆ。」

そして、お腹のこの子に、  
みことばを語りかけるのだった。

“わたしの目には、あなたは高価で尊い。  
わたしはあなたを愛している。  
だから、わたしは人をあなたの代わりにし、  
国民をあなたのいのちの代わりにする。”  
イザヤ43：4

ジーザスちゃん、あなたは高価で尊いんですよ。  
私の大事な大事な宝物なんですよ。  
聞いていますか？

.....だけど、最近、食欲がないのよね。  
これがつわりかしら？  
でも、この子のために食べないと.....。

私はお寿司をたくさん食べた。

しかし.....。

「うっ。気持ち悪い。洗面所洗面所。」

私は洗面所へ急いだ。

そして、

「おえええ、えろえろ、はあはあ、これがつわりか.....。  
救い主が宿っているはずなのに。」

私は一抹の不信感を抱いてしまうのでした☆

☆ ☆ ☆

私はお腹の子にみことばを語り続け、  
酵素を摂り、フッ素を排除していた。

もう、10か月かあ.....。  
臨月？

「い、痛い、お、お腹が！  
救急車、救急車！！」

私は急いで119番を押した。

病院へ運ばれ、出産を迎えることに。

.....。

(い、痛い！ く、苦しい！！  
これが出産か.....。  
でも、これもお腹の子のため。

世界の未来のために！！  
私、産みます！！（い、痛い！！）

「おぎゃああ、ぎゃああ」

「う、産まれた……！！！！」

「おめでとう、元気な男の子ですよ。  
可愛いですね！」

「よ、よかったああ。  
無事産まれて。  
ジーザスちゃんの誕生日は12月25日かあ。」

何か、感慨深いものがあった。  
私もついにママかあ。

「あの、出産費用が払えないのですが……。」  
「ああ、また今度でいいですよ。」  
「ガビーン、払わないといけないのか……。」

メシアのママ、メシママもお金には苦労するのです。

☆ ☆ ☆

1週間たって、私はこの子と一緒に退院した。  
この子は、新生児。  
大切にしなくちゃ！！

コンコンコン。

「あ、はい、どなた？」

ドアを開けるとそこには3人の人がいた。

「おめでとう、恵まれた方。  
私たちは星占い師です。  
救い主が現れたとオリオン座の導きで  
こちらに来ました。  
この子の未来を占ってあげましょう。」

「いいえ、結構なんですけど……。」

「そういわずに。」

2021年12月25日1時。

この子の内面を表す月は11ハウス、乙女座に来ています。

よってこの子は……。」

「もういいです！ 結構です！」

「そうですか。」

この子は立派に育ち、偉大な人となるでしょう。

独り子である神。

私たちはこの子を礼拝します。

ささげ物を捧げます。

お祝いの銀のスプーンと乳香のエッセンシャルオイルです。

受け取ってください。」

「あ、はい、ありがとうございます……。」

「神さまがいつもあなたのことを見えています。

ご安心ください。」

「は、はあ、ありがとうございます……。」

何だったのかしら？

あれは……。

私はジーザスちゃんに絵本を読んであげることにした。

いちにちのいのりという絵本だ（本当にある）

「てんのおとうさま まいにち

わたしを みちびいてください。

わたしが しんせつで やさしい

こどもに なれるように

みちびいてください。

わたしが しなければならぬことを

おしえてください。」

「キャハハ。」

「ジーザスちゃん喜んでみたい！

よかったああ。」

私は母乳を与え、ジーザスのおしめを取り換えてあげた。

ジーザスちゃんが瞳に入ってもいたくないくらいに、

可愛がった。

ジーザスちゃんは私の喜び、冠です。

今日も、ジーザスちゃんにみことばを語ってあげた。

「“エッサイの根株から新芽が生え、  
その根から若枝が出て実を結ぶ。  
その上に主の霊がとどまる。  
それは知恵と悟りの霊、  
思慮と力の霊、  
主を恐れる、知識の霊である。  
この方は主を恐れることを喜びとし、  
その目の見るところによってさばかず、  
その耳の聞くところによって判決を下さず、  
正義をもって弱い者をさばき、  
公正をもって地の貧しい者のために判決を下す。  
口のむちで地を打ち、  
唇の息で悪しき者を殺す。  
正義がその腰の帯となり、  
真実がその胸の帯となる。”

イザヤ 11 : 1 ~ 5

この新芽、若枝ってジーザスちゃんのことだったんだねえ、  
すごいんでちゅねえ。」  
「キャハハハ。」

ジーザスちゃんは意味が分かってるのか分からないが、  
無邪気に笑った。

私はこれからもジーザスちゃんの母、救い主メシアの  
母として生きていきます。  
これからもずーっとねっ♪

アーメン☒

あとがき。

ああ、セリフに統一感ができなかった。  
びゅびゅ言ったらキャラが立つかと  
言えば、そうではないらしい。  
まずまずかなあ。  
ジーザスにおしめって何か不思議笑

アーメン☒

2021年11月23日

あいね

聖書 新改訳 2017 12017 新日本聖書刊行会

ブログ 主イエスの恵みがあなたに

<https://ameblo.jp/lapis-2019/>



---

メシアを身ごもるびゅちゃん

---

著 ラピス✦

制作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---